



地域と調和した環境マネジメントシステムへの取り組み。

富士通グループでは、国際規格ISO14001¹に基づく環境マネジメントシステムを構築し、持続的・継続的な環境改善活動を行っています。ISO14001を環境負荷低減のための一つのツールとして有効に活用。工場や事業所がある地域ごとに活動組織を作り、地域と調和した環境活動を行っています。また、環境改善プロセスである「Plan Do Check Action」を効率よく運用しています。

環境マネジメントシステムへの取り組み

ISO14001の認証取得実績

富士通グループ

国内・海外の関係会社、計84事業所(国内70事業所、海外14事業所)が認証を取得しました。(2002年度末)

富士通

国内製造全9工場認証取得完了。(1997年度)主要な開発およびサービス関連の7事業所認証取得完了。(2002年度)また、環境マネジメントシステムは環境経営の基本であり、グループをあげて取り組むことが重要であるため、国内・海外の関係会社のISO14001認証取得も進めています。



本審査(富士通本社)



本審査(富士通京都支社)

eco.fujitsu.com/info/eco20000816b.html

Action

環境マネジメントシステムのレビュー・改善

環境方針

Check

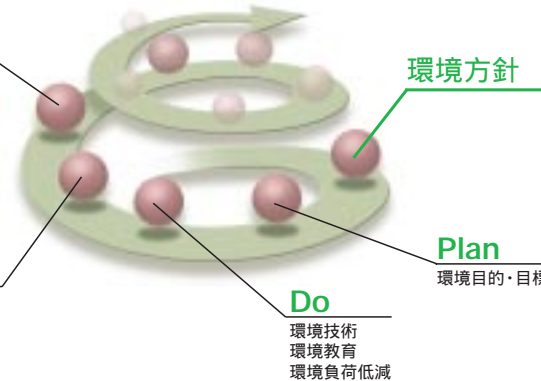
目的・目標の達成状況確認

Plan

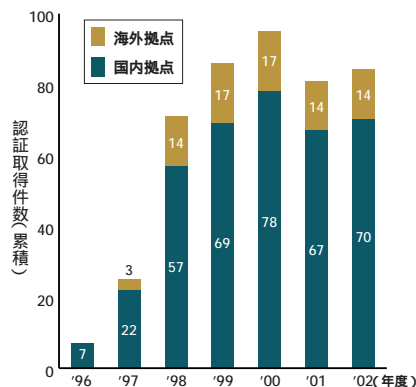
環境目的・目標

Do

環境技術
環境教育
環境負荷低減



認証取得実績(富士通グループ) (単位:件)



2000年度までは、富士通グループ(関係会社)の子会社までを含めて集計していましたが、2001年度より集計範囲(持株率50%以上)を変更したため、認証取得実績数に差異が生じています。

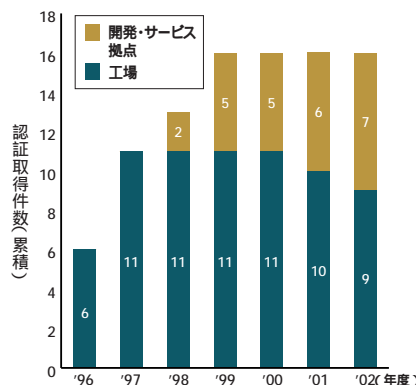
本社部門

富士通の事業の中核を担う本社スタッフ部門(経営戦略室、人事勤労部、総務部、広報IR室ほか)が認証を取得しました。これは、オフィス内での省資源、省エネルギー、廃棄物削減などの活動に加え、各部門の本来の業務における環境を意識した取り組みを対象としたものです。(2003年3月)

営業部門

お客さまへ環境に配慮した製品を提供するとともに環境負荷低減に貢献すべく、京都支社(滋賀支店を含む)において認証を取得しました。営業部門単独での認証取得は今回が初めてです。(2003年4月)

認証取得実績(富士通) (単位:件)



2001年度で1件、2002年度で1件工場の認証取得実績数が減少していますが、これは富士通須坂工場が富士通メディアデバイス(関連会社)へ移行および鹿沼工場閉鎖のため、認証取得実績数に差異が生じたものです。

サーベイランス審査

認証取得済み事業所(64事業所)については、サーベイランス審査²において計294件の指摘事項があり、257件改善を行いました。残り37件は現在改善を進めています。

² サーベイランス審査:1年ごとに環境マネジメントシステムの有効性と改善向上の事実を確認するための審査。

グループ全体を対象とした主な活動内容

環境マネジメントシステムの改善

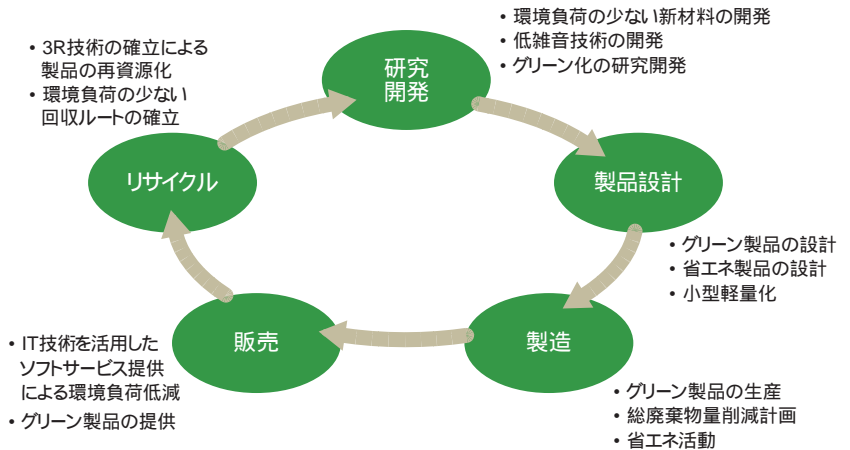
開発、製品設計、一般事務などすべての業務において、日常活動の中で環境改善を行うしくみを構築し、実施しています。

環境講演会・説明会

環境意識の定着と向上をはかるため、各工場・事業所において講演会、説明会を実施しました。(計204回)

環境マネジメントシステムのノウハウを共有するために、環境セミナーの開催、コンサルタントの派遣および規定類の提供を行いました。(計39回)

業務サイクルの中で環境への配慮が向上



環境教育

環境教育の内容を全面的に見直し、それぞれの業務(研究・開発、製品設計、一般業務など)に即してイントラネット¹を利用した教育を行いました。(13,772人)

¹ イントラネットを利用した教育は、各人の都合のよい時間に、十分に理解できるまで教育を受けられるのが特長です。

内部環境監査員教育を45回行い、計502名の監査員を育成しました。(登録内部環境監査員 累計2,205名) また、内部監査員の資質向上をはかるため、フォローアップ教育を行いました。

内部環境監査

内部環境監査を実施し、2,194項目の指摘があり1,866項目の改善を行いました。残り328項目は現在改善を進めています。

想定緊急事態の訓練

緊急事態の発生が予測される場所72カ所において、緊急事態を想定した訓練を計171回実施しました。(参加者: 4,071名)

機械油の搬送時にドラム缶が倒れ、土壌で雨水側溝への流出を防ぐ。



機械油の雨水側溝への流出を想定(富士通オートメーション)

土壌にて雨水溝への流出防止措置を行い、流出した苛性ソーダを土砂などに吸着させ、残存物を中和処理する。



タンクヤードへ「苛性ソーダ」を搬送時漏洩(山形富士通)

取引先への対応

資材・製品用部品・材料の取引先1,060社および用益・サービスの取引先720社に対し、富士通グループの環境活動への理解と協力をお願いしました。

2003年度 主な実施計画

ISO14001認証取得計画

国内関係会社

- 富士通南九州システムエンジニアリング
- 滋賀富士通ソフトウェア

環境マネジメントシステムの向上

2003年度に予定している全社環境マネジメントシステム統合化に向けて、総合監査による拠点ごとのパフォーマンス把握および情報のオンタイム管理を推進していきます。